

写真:亘理町逢隈十文字周辺の水田ほ場における海水流入状況と表層土壌の電気伝導率

国土地理院が公表した平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震正射写真地図 10RE111 (3月13日撮影) の一部をトリミングしたものに、3月19日に松本俊彦氏が採取した表層土壌試料を菅野が測定した1:5水浸出法による電気伝導率(EC, mS/cm)の分析値 (白文字) を重ねて表示した。撮影日に海水が残っている部分は薄緑色、海水が引いた跡は黒く、海水が水尻側から滲みた跡は薄黒くみえる。黄色線は標高2.5mの等高線を示し、写真地図の東端を縦走しているのは常磐自動車道。